

2022年2月28日

安保破棄諸要求貫徹大阪実行委員会
事務局長 守山禎三

ロシアによるウクライナ侵略に抗議し、即時撤退を求める（声明）

ロシアは2月21日にウクライナ東部の一部地域を一方的に「独立国家」と承認し、その「共和国」からの要請や、ウクライナ国内のロシア人を守るためなどとして24日、ウクライナへの全面的な軍事攻撃を開始しました。

これは、国連憲章に基づく国際ルールを乱暴に蹂躪し、独立国ウクライナの主権を侵害する行為です。

また、武力によってウクライナの現政権を倒し、親ロシア政権を樹立しようとするのであれば、ウクライナの自決権を侵害する行為であり、どちらも断じて許されるものではありません。

私たち安保破棄大阪実行委員会は、このロシアによる侵略行為、そしてこの軍事攻撃が「集団的自衛権」の名のもとに行われることに対して断固として抗議します。

さらに、プーチン大統領が「ロシアは世界で最強の核保有国の一つだ」などと述べ、核抑止力部隊を特別警戒態勢に置くように命じたなどと報じられています。

これは、ついに核兵器禁止条約が発効し、世界が核兵器の廃絶に向けて確実に歩みだしていることへの挑戦であり、断じて許されません。

私たち安保破棄大阪実行委員会は、ロシアに対し、直ちに軍事攻撃を中止し、撤退することを求めるとともに、独立国ウクライナの主権を尊重し、国連憲章と国際ルールを遵守することを強く求めます。

また、日本政府に対しては、平和を愛する国際社会と連帯し、憲法9条を持ち、ただ一つの戦争被爆国だからこそ言える「平和への願い」を掲げて、国際平和を実現するために積極的に努力することを強く求めます。

以上.